

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)プライムゾン照葉七丁目計画(西棟)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40			3.4
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.00	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.00		-	
2 温熱環境						2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.62	3.0	0.63	
2 外皮性能						3.0	0.37	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.01		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.4	1.00	3.3
3.1 屋光利用						3.0	0.31	3.4	0.35	
1 屋光率		屋光率: 5.95					-	5.0	0.50	
2 方位別開口							-	1.0	0.30	
3 屋光利用設備						3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						4.0	0.29	4.0	0.35	
1 屋光制御		カーテンと庇により屋光を制御する。				4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						1.0	0.15		-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.29	
4 空気環境						4.0	0.25	4.7	1.00	4.5
4.1 発生源対策						4.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		JIS規格F☆☆☆☆の建築材料を採用する。				4.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						4.0	0.40	4.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		居室面積の1/6以上の開閉可能な開口面積を確保する					-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		空気取り入れ口は、汚染源である道路・駐車場より6m以上離れてい				5.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理							-		-	
1 CO ₂ の監視							-		-	
2 喫煙の制御							-		-	
Q2 サービス性能							0.30			2.9
1 機能性						3.8	0.40	2.2	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ						5.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性							-		-	
2 高度情報通信設備対応							-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たしている。				5.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		住居部で天井高2.5m以上を確保する。					-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							-		-	
3 内装計画						3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30		-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.8	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁タイルの補修必要間隔: 30年以上とする。				5.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管・排水管にB以上を採用。Eランクを採用しない。				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性		3.1	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり		3.0	0.01	3.6	0.50	
1 階高のゆとり	階高2.9m以上を確保する。	-	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	1.00	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.01	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.2	0.99	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	Gbitクラスの通信配線が設置できるよう、配管を施工済み	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出	十分な量の緑化を図る	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮	植栽により、良好な景観となるよう配慮する。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		2.9	0.20	-	-	2.9
2 自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = -	3.7	0.50	-	-	3.7
4 効率的運用		4.0	0.20	-	-	4.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価		4.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	ガス消費量等の情報表示ができる給湯器リモコンを採用する。	4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	ガス消費量の情報表示端末に関して、居住者へ説明する。	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水コマの採用、省水型便器を採用する	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	フライアッシュセメント	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	タイルカーペット、ビニル系床材、集成材	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		4.3	0.20	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	床タイル用接着剤に、有害物質を含まないものを採用。	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=1の発泡ウレタンフォーム断熱材を採用する。	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐車場入り口を複数設け、入居者数分の駐輪台数も確保する	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を設置しない。	4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	